

迷惑をかけるつもりにならないと、ニートから脱出できない。

「人に迷惑がかかるから、思いきった行動ができない」
そう思うのは、ナンセンスです。

ニートの生活から脱出するためには、大なり小なり、他人に迷惑がかかります。

もちろん人に迷惑をかけない生き方が理想です。

誰かに手間を取らせたり、困らせたりしない生き方をすべきです。



しかし、それは余裕のある人の生き方です。

ニートには、余裕がありません。

余裕のないニートが、人に迷惑をかけない生き方を心がけると、永遠にニートから卒業できないでしょう。

ニートの生活から脱出するためには、他人の協力が必要です。

ニートからの脱出は、崖から這^はい上がる様子に似ています。

1人だけで崖から這^はい上がろうとしても、絶壁のため、上がりません。

地上まで縄が届きません。

足場も悪いため、大変危険です。

無理をして崖の途中で落ちれば、取り返しのつかない大けがをするかもしれません。

他人の協力があるから、急な崖を、確実に、這^はい上がれます。

それは、親からの援助であったり、他人からの協力であったりします。

むしろニートは、人に迷惑をかけるくらいでちょうどいいのです。

得られる援助はありがたくいただき、ニートから脱出する足がかりとして活用しましょう。

さて、親や他人にかけた迷惑は、そのままにするではありません。

親や他人にかけた迷惑は、後から返上します。

自分が職に就いて、余裕ができたとき、親孝行をしましょう。

そして、助けてくれた人を見習って、自分も人に優しい生き方を心がけましょう。

いずれあなたの目の前に、昔の自分と同じような人物が現れるでしょう。

そのときは、自分を助けてくれた人を思い出し、できるかぎりの援助をすることです。

人は、1人では生きていけません。

困ったときは、お互い様なのです。

ニートの就職活動を支援する言葉 その13

迷惑をかけるつもりになる。